

夏合宿 登山報告書

成蹊大学ワンダーフォーゲル部

報告者：野呂文虎

1. 実施日：2016年8月23日(火)～27日(土)+予備日1日(28日)
2. 場所：北アルプス白馬岳
3. 参加者：4年生1人、3年生1人、2年生2人、1年生3人計7人
4. 行動報告：徒歩→ バス・タクシー→

【1日目】天候：くもり

新 宿 駅	⇒	白 馬 駅	⇒	猿 倉	⇒	白 馬 尻 荘
着		13:25		14:55		15:50
発	8:15	14:25		15:10		

初日は高速バスで白馬駅まで行き、バスの時間まで1時間あったのでそこでお昼ご飯を食べ、活力をつけた。猿倉から白馬尻荘まではハイキングコースだったのでそれほど疲労が溜まることもなく予定より早く1時間もしないで白馬尻荘に着いたので、アイゼンの確認などをする時間がしっかりと確保できた。テント場は自分たちしかいなく、翌日にむけてゆっくりと休めた。



【2日目】天候：くもり、晴れ

白馬尻荘 → 大雪溪入口 → 岩室跡 → 白馬山頂上宿舎

着	6:55	8:25	10:40
発	6:00	7:10	8:25

大雪溪は例年より雪が少なくクレパスが多く見られた。1年は全員アイゼンを使うのが初めてであったが、何事もなく大雪溪を渡りきれた。岩室跡から頂上宿舎の間に15分ほどの休憩を二回とった。頂上宿舎には予定より早くついた。夕食は鮭の缶詰炊き込みご飯を全員で作った。時間的にも余裕があり、充分リラックスできたと思う。



【3日目】天候：晴れ、くもり

白馬山頂上宿舎	→	白馬岳頂上	→	三国境
着		5:50		6:40
発	5:05	6:10		6:40
避難小屋	→	雪倉岳	→	朝日小屋
着	8:05	8:40		13:20
発	8:05	8:45		

朝は天候にめぐまれ、白馬岳山頂での景色は日本海と雲海が見え圧巻だった。雪倉岳の山頂ではガスがかかってしまっ周りは何も見えなかったが、白馬岳からの道は晴れていれば景色がよく、雪倉岳も晴れていれば絶景だったのだろうと思った。

予定では朝日岳に登る予定であったが、4日目でも登ることやその時点での時間と体力面を考慮して朝日岳は登らずに水平道をいくことにした。途中鎖場などもあったが怪我なく乗り越えられた。



【4日目】天候：くもり、晴れ→雨

朝日小屋→朝日岳→花園三角点→ヒョウタン池→蓮華の森

着	6:35	9:25	10:40	13:10
発	5:45	6:45	9:25	10:40

この日は予定より少し早く出発した。朝日岳頂上ではガスでまわりは何も見えなかったが、その後の道のりで晴れてきてきれいな花やいい景色を見ることができた。蓮華の森のキャンプ場から15分ほど歩いて蓮華温泉に行き温泉に入った。キャンプ場に戻るときには雨が降っていた。

雨のためにテントが使えなくなるなどのハプニングもあったが、数人が外の雨だけしのげるところで寝るなどしてしのいだ。



5. 振り返り

今回の合宿では、全員が怪我なく終えることができた。また、4日目にはハプニングもあったが臨機応変に対応することができた。大雪渓では、部員の半分以上が軽アイゼンを初めて使用した。白馬岳山頂での景色は絶景であったが、雪倉岳・朝日岳で晴れなかったのは残念であった。だが、尾根沿いやその他の道のりでも晴れたときは景色がよく、お花なども見られた。プレ合宿のおかげでストックも違和感なく使え、食料や防寒などもしっかりと確保出来ていたのよかった。

高速バスでの移動は今回の合宿が初めてであったが、なかなか快適であった。交通状況により時間が大きくズレることがあるので、そのことを考慮した上で次回の利用を考えたい。